10月8日（日）

開催場所：越辺川石今橋

天候：曇り・渇水

一般参加者： 26人（大人15人・子ども11人）

スタッフ：25人（内、細村建設2人、高橋土建4人、鳩山環境フォーラム3人）

　9月10日に開催予定だった事業が、降雨による越辺川の増水によって中止になり、１ヶ月延期して開催した。この１ヶ月間の間に会場の高水敷は再びアシなどの草で覆われたため、金曜日・土曜日の二日間合計8人で刈り払い機を使って整備作業を実施、何とか開催できる環境にすることができた。長い猛暑の季節が終わって急速に気温が下がり、肌寒い気温の中での開催となったが、河川水温は低くなってなかったことは救いだった。

　気温が下がったことで一般参加者からの辞退の連絡が多く、参加者は26名と少なかった。昨年に引き続き、地元の建設関係の方6名がスタッフとして参加。移動式トイレを軽トラに積んで持ってきてくれ、非常に助かった。鳩山環境フォーラムからも3名がスタッフとして駆けつけてくれた。水量は少なかったが、子供たちには全員ライフジャケットを着用してもらった。

　瀬張り網の設置時に横と前に刺網を置き、アユが掛かるような仕掛けを作った。その後全員で下流約200mに移動して、石今橋の少し上流に設置した瀬張り網まで網を曳いた。網を曳き始めて暫くして、遡上して逃げてきた３尾の大型アユが刺網に掛かり、橋の上からも見えるらしく通行人からもかかっていると声がかかった。2つの網の間隔を10mほどに縮めたところで

投網を打ち、子どもたちに捕ってもらった。刺網に掛かったアユも取り上げてもらった。地曳網では全長250㎜前後の5尾のアユを捕獲できた。

　その後は、釣り教室を開催し、ピストン釣りを体験してもらった。投網教室も実施し、高水敷でシートに置いた川魚のフィギュアを小型の投網で捕ってもらった。希望する大人の人にも打ち方を教授し、覚えてもらった。

　今回も捕れた小魚を素揚げにし、事前に高麗川で捕獲したアユを塩焼きにして参加者に提供した。建設関係の方が差し入れてくれた飲み物と菓子類も参加者の皆さんに提供させてもらった。

　今回は川に入るには涼しかったが、目指すアユも子どもたちに網から取り上げる体験をしてもらうことができ、良い体験事業になったのではないかと思う。

捕獲した水性生物

　アユ５尾、オオクチバス、オイカワ、ヒガシシマドジョウ、カジカ、コイ、カワリヌマエビ、スジエビ、ヌマガエル

****